

TOPICS

## ASEAN HOT TOPICS

創英ASEANオフィス・支配人  
弁理士 井上 博人

ASEANオフィス（タイ王国・バンコク）より、「ASEANの知財情報」および「ASEANオフィスの業務/活動」をご紹介します。今回は、模倣品・海賊版商品の取締りの最前線の現場である税関及び市場を視察する機会がありましたので、そのご紹介です。

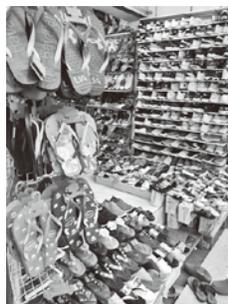
## アランヤプラテート税関・ロンクルア市場 視察

アランヤプラテートは、タイ王国・バンコクの東方250km程のところにあるカンボジアとの国境にある町です。バンコクからは車で4時間程かかります。同地は、バンコクからカンボジアの首都プノンペンを通り、ベトナムのホーチミンへとつながる南部回廊と呼ばれるメコン地域の主要国道上に位置しており、多数のトラック、トレーラーが行き交う物流の要衝です。

過去にバンコク税関より入手した統計データによれば、アランヤプラテート税関は、2017年度のタイの各地の税関における商標権侵害品取締実績で、2番目に取締件数が多く、模倣品・海賊版商品の流入を阻止する重要な拠点であることがわかります。

## 【ロンクルア市場】

アランヤプラテートには、国境に隣接してロンクルア市場と呼ばれる巨大な市場があり、まずは当該市場を視察しました。被服、靴、バッグ、時計、おもちゃ、日用品、家電、等々、あらゆるものが販売されており、とても1～数時間の滞在で全体を回る事ができる場所ではありませんでした。



家電品を販売している店舗のスタッフに聞いたところ、主にタイ人が、国境を越えてカンボジアにあるカジノへ行った帰りに立ち寄り、商品を購入していくとのことでしたが、衣料品等の小売業者が商品の仕入れにも来ているようです。

販売されている商品は、例えば、大手スポーツブランドの靴や帽子を目にしましたが、見るからに粗悪品

であり、これらが小売業者により買い付けられ、バンコクの街中で販売されるといったことを考えますと、当地にて実効性のある取締活動が行われることが強く望まれます。実のところ、税関職員によれば、現在1日に2回、軍人、警察、民間、税関が合同で市場パトロールを行い、模倣品の押収や販売者の逮捕も行っているとのことであり、そうした活動により模倣品、侵害品は減少しているとのことでした。

## 【アランヤプラテート税関】

税関は、ロンクルア市場から車で3分ほどのところにあります。税関の正面玄関前には、差押品が山のように積み上げていました。



税関職員から、アランヤプラテート税関の概要や知財侵害品の取締状況等について、聞き取りを行いました。税関職員は非常な激務であり（勤務時間6:00～22:00で3週間連続勤務（その後1週間連続休暇）、実務担当官は48名という限られた人数で全ての税関業務を行っており、知財侵害品の取締専任の担当官はいないとのことでした。タイ国内の中で取締件数第2位の税関がこうした状況ですので、現状では、タイの税関における模倣品・海賊版商品の取締りに大きな期待はし難いと感じさせられました。

その一方で、今回の税関視察では、日本企業の知財担当者の方より、税関職員に対して当該企業の製品の真贋判定のレクチャーを行い、真贋判定に使用するツールの提供も行いました。税関職員の反応は非常に良く、こうした活動が、税関における今後の取締活動に役立つことは間違いないと考えます。

ASEAN各国における模倣品・海賊版商品対策として、真贋判定のレクチャー・セミナーに興味、関心がございましたら、お気軽にASEANオフィスまでお問い合わせください。

以上